

委 員	シート 頁	重点事項・ 重点的取組	回答係	シート の変更	意見 No.	意見内容	回 答
小暮委員	全体			無	1	1. 約2週間前に開催連絡では遅すぎると思われます。せめて2か月前ぐらいの連絡が常識的です。年度当初に年間計画を連絡いただけるのが有難いです。	開催通知及び資料送付が遅れまして申し訳ありませんでした。今後は、開催通知、資料ともにもっと早い時期に送付できるように努めてまいります。
小暮委員				無	2	2. 審議会資料の送付を早くしていただきたいです1週間で質問事項や意見をまとめ、送付するのは大変です。	
小暮委員				無	3	地域福祉活動計画の幅広い分野で社会福祉協議会が少ない人員の中で真摯に取り組んでいることに頭が下がる思いです。 全体的な進捗状況を社会福祉協議会担当者としてはどのように評価しているのでしょうか。進捗状況管理シートにそれぞれの取り組みの自己評価がありますが、読むだけでは計画が進行している臨場感をつかむことができません。「ふくしの杜ほんじょうプラン21」は本当によくできた計画だと思います。人体でいうと「骨格から筋肉、指の先まで」をどのように作り、動かすかを綿密に計画しています。政策、組織改革から地域づくり、人づくりまで細部にわたり計画されています。 それぞれの取り組み（パーツ）は担当係や担当者によって粛々と進められているという印象を持ちました。全体としてはどうなのでしょう。担当者としては発言し難いと思いますが、全体としての到達点と課題をお話いただけると幸いです。	令和2年度には、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け地域活動の停滞が顕著でしたが、令和3年度は活動も再開しつつある状況です。計画最終年の令和5年まで、どこまで元通りになるか見通しが難しいところですが、地域の方々や関係機関と連携を取りながら、事業内容等のチェック及び職員体制の強化等の取組を通じて、引き続き地域活動・地域交流の活発化を目指してまいります。
木村委員	1	相談支援機能の強化と相談体制の整備	庶務係	無	4	ナラティブアプローチ研修について用語解説が必要と思われます。《備考》欄にでも、「相談相手や患者などを支援する際に、相手の語る『物語』を通して解決法を見出していくアプローチ法」とかの解説	参考：ナラティブアプローチとは「クライアントをより深く理解しようとするためのソーシャルワークにおけるアプローチ法」です。
木村委員	14		社会福祉係	無	5	「受任件数3件（後見類型3件）→追加で、受任形態表記（施設での後見・在宅での後見）本計画書が平成31年度からの計画書である点から、参考として各年度及び類型表記の必要性	参考：受任形態（施設入所2件、入院中1件）
木村委員	15		社会福祉係	無	6	市民後見人養成講座フォローアップ研修（9名参加）※本計画書が平成31年度からの計画書である点から、養成講座修了者の後見受任状況	受任状況については社協では把握しておりません。養成講座修了後の名簿登載等につきましては市・地域福祉課が担当しております。
小暮委員	14～16	法人成年事業の実施	社会福祉係	無	7	「本庄市成年後見サポートセンター」は本庄市の成年後見事業の中核的拠点と理解してよいでしょうか。権利擁護を推進する上で成年後見制度の啓発普及はとても重要だと考えます。中核的拠点の役割や今後の運営方針について説明してください。	初めのご質問については委員ご認識のとおりです。中核的拠点の役割といたしましては、制度に関する広報及び啓発、相談及び利用支援、関係する機関等との連絡及び調整、市民後見人の養成等となります。今後の方針につきましては、当センターの役割・内容等、市と協議しながら進めてきた経緯もありますので、引き続き、市の担当課と協議しながら検討してまいりたいと考えております。
小暮委員	18～21	更生保護の推進	社会福祉係	無	8	刑余者の再犯率が高くなる傾向があります。地元に戻っても住居が見つからない、就職口が見つからない、地域は受け入れてくれないという現実と直面し、再び罪を犯し刑務所に戻ってしまう例が多くなっているようです。刑余者本人の問題と受け入れ側の地域、職場、住居等の問題があります。受け入れ側の問題を解決していくことが地域福祉活動計画には求められていると思います。就職問題、住居問題で実践例があったら紹介してください。 ①啓発活動だけでは不十分だと考えます。 ②個々の問題を解決し刑余者の地域生活を保障することが更生保護の推進になると考えます。 ③刑余者の中には精神障害、知的障害を持つ方もいらっしゃいます。連携をとることが重要と考えます。	本庄市では、就職、住居等の相談は自立相談支援窓口で受け付けており、その業務を当協議会が委託を受けて行っております。刑余者の方々につきましても、就職、住居等の相談に応じ、就労支援員につないで就労先（住居付きを含む）の紹介をしたり、関係部署への案内を行う等しながら、必要なサービスにつながるよう支援させていただいております。

委 員	シート 頁	重点事項・ 重点的取組	回答係	シート の変更	意見 No.	意見内容	回 答
小暮委員	32～33	住まいの確保	社会福祉係・ 地域福祉係	無	9	高齢者、低所得者、刑余者等はアパート探しに苦労しています。保証人がいないから契約できない。敷金、礼金が支払えないから契約できない。一人暮らし高齢者は孤独死の問題があり不動産業者は契約を避ける傾向にあります。このような人々に対する住まい確保の仕組みづくりは出来ていますか。個人の契約行為なので行政としては介入できない部分です。社会福祉協議会が仕組みづくりをする分野かと考えます。実践例があったら紹介してください。	本庄市では、住居等に関する相談は自立相談支援窓口で受け付けており、その業務を当協議会が委託を受けて行っております。相談対応のなかで、埼玉県住まい安心支援ネットワークが実施している「あんしん賃貸住まいサポート」登録店に、相談者の方をご案内したことはありますが、居住支援については、福祉関係団体のみならず、不動産関係団体、地方自治体等が連携して対応する必要もあろうかと存じますので、社会福祉協議会ができることについて検討してまいりたく存じます。
小暮委員	34～39	小地域における福祉活動の推進	地域福祉係	無	10	小地域の住民主体の福祉活動は地域を支える福祉資源だと考えます。福祉資源の充実が地域福祉活動計画の重要な部分と考えます。 ①モデル地区の候補や進んでいる住民主体の福祉活動を紹介します。 ②当事者組織について具体的に紹介します。	①モデル地区の候補地は決定しておりませんが、小島南自治会・牧西自治会にて住民主体の福祉活動が始まっております。 ②当事者組織は数団体あります。そのひとつでは、在宅で介護経験のある方が代表者となり、サロンを立ち上げ、勉強会ほか運動・認知症予防等を行っています。そのほか、障害のあるお子さんをお持ちの親御さんが代表者となり、障害児・者の家族の方及び障害福祉に関わる支援者の交流・情報交換・勉強会等を行っている団体等がございます。
木村委員	54	社会福祉協議会の認知度の向上	庶務係	無	11	組織のPRについては、①組織目的②組織の形態③組織の活動規範④組織の経理状況が重要と考えます。 本庄市社協のホームページでの活動規範については「定款」のみの掲載です。 本庄市社協にも「社会福祉法人本庄市社会福祉協議会諸規程」があり、①総則②組織及び庶務③人事④給与⑤財務⑥その他に分類され、①2、②3、③5、④3、⑤5、⑥29【H16当時】それぞれ規程がありました。他社協（新座市等）もあり、社協運営も本庄市からの補助金に負う事も多く、本庄市のホームページの「例規集」の掲載も参考にして、社協の認知度を高める手段とすべきです。 また、社協の活動の「見える化・見せる化」とありますが、社協の「経理」面についても同様にして欲しい。現状の本庄市社協のホームページでは、「事業報告・決算」特に「資金収支計算書」「事業活動計算書」「貸借対照表」について「法人全体」としての掲載しかありません。 厚生労働省ホームページの「社会福祉法人会計基準の構成」によると、特に「資金収支計算書」「事業活動計算書」「貸借対照表」については、 ①法人全体（社会福祉法人） ②事業区分（社会福祉事業・公益事業・収益事業） ③拠点区分（A拠点・B拠点） ④サービス区分（A事業・B事業・C事業・D事業） による、各区分からの集計毎の表記が指示されています。社会福祉協議会の認知度向上のためにも、本庄市社協の経理部門の「可視化」も図るべきです。	社協が地域福祉の推進役として、社会的価値や認知度を高めるために、ホームページ等へ多くの情報を掲載することは必要だと考えます。また、ホームページは、高齢の方や障害のある方など、誰でも利用しやすい、欲しい情報にすぐにたどり着く、一目見て分かるなど、内容を分かりやすく伝えるため、デザインや内容等、見やすいコンテンツづくりに努めております。社協の認知度向上につながる情報発信のあり方については、今後も調査研究を行ってまいります。 経理部門の情報掲載についてですが、インターネットの利用による公表は、「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」にて定められた内容を公表することとなっており、当協議会も電子開示システムにより公表しております。当協議会ホームページでの掲載のあり方につきましては、埼玉県社会福祉協議会とも相談しながら検討してまいります。
木村委員	59	基金の適正活用	庶務係	無	12	有岡基金と高齢者福祉事業基金について どんな基金の規程なのか？	両基金ともに、「基金及び積立金規程」において設置しております。有岡基金は、故有岡光江氏の遺志により、社会福祉活動の推進に資する基金として設置しています。また、高齢者福祉事業基金は、高齢者福祉の推進のために充てる基金として設置しています。